

心豊かな生活を

する暴力は人権問題です

の会のみなさんが取材しました

パートナーシップ
おかや No.5

心豊かな 男女共同参画社会の 実現をめざして

“あいとぴあ”の相談員さんに聞きました

DVは殴る、蹴るだけではありません。

被害者の多くは女性であり、決して許されない人権侵害です。

その背景には、まだまだ男性優位の意識があるからだと思います。

こんなこともDVの兆候です

- ・いつも命令口調で、人前でも平気でバカにする。
- ・外出を制限したり、常に居場所を携帯で確認する。
- ・「誰に食わせてもらっているんだ」とお金も稼げない能なしと言われる。
- ・気に入らないと物を投げたり蹴ったりする。
- ・実家や友人と付き合うのを禁止する。
- ・ぎりぎりの生活費しか渡してくれず、やりくりの苦しさを分かってくれない。

☆被害者は「自分が悪いのだ、自分さえ我慢すればよい」と一人で悩まず、すぐに相談窓口へ行きましょう。

DVは決して被害者だけの問題ではなく、真の男女共同参画社会を形成する上で、克服すべき問題として取り組むことが必要です。

夫が私に暴力を振るうのは「お前が言うことを聞かないからだ。」と言われ、逃げたかったけれど生計が立たないし、見つければ更に恐ろしい目にあうかもしれないと悩み、自分の人生をあきらめてしまった悲しい人もいます。



困った時の相談窓口

女性のための相談 要予約

第2木曜日 午前10時～午後4時

6月・11月 午後1時～9時

生涯学習企画課

(内線1459)

児童虐待・DV24時間ホットライン

24時間いつでもお電話ください。

☎0263-91-2410

女性のための一般相談

火・水・木・土 午前8時30分～午後5時

金 午前8時30分～午後9時

女性のための法律相談 要予約

第2金曜日 午前10時30分～午後3時

フェミニストカウンセリング 要予約

第1・第3金曜日 午前10時～午後5時

男女共同参画センター“あいとぴあ”

(配偶者暴力相談支援センター)

相談専用電話 ☎22-8822

DV（ドメスティック・バイオレンス）で悩んでいる方、いつでも相談窓口は開かれています。
勇気を出してご相談ください。



カット：松田弘三

お互いを尊重し

男女間や高齢者、子どもに対

岡谷市男女共同参画推進市民

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは男女間における身体的、精神的な苦痛を与える暴力的行為のことです

若い二人の会話から

- A子 うちのお父さん、お酒を飲むと大声でどなったり、命令口調で言いつけるからお母さんかわいそうなんだよ。
- B子 それって人権無視だよ。DVじゃないの？ 男の人の中には女の人を下に見ている感じの人っているよね。
- A子 そう言えば、C子も彼が付き合い始めた頃はとても優しくかったけど、最近は思うようにならないと怒って、とても怖いって言ってたよ。
- B子 若いカップルでも脅して強引に付き合わされるのはデートDVだって。
- A子 そういうの結構あるみたい。彼に嫌われたくないから我慢しちゃうんだね。
- B子 お互いに立場をかえてみて嫌だなと思うことはやっちゃいけないよね。人間として対等なんだから。

子どもへの暴力予防教育や人権について

学習している市民活動グループ

「木・い・ち・この会」に聞きました

10代のデートDV 5つのケース

- 学校の廊下で別のクラスの男の子と楽しそうに話している彼女を見て「前から他の男と話すなって言ってるだろ。」といきなり蹴って怒鳴る彼。
- 部活に熱心な彼女に「デートを優先させろ。お前なんか練習したって勝てっこない、部活を休め。」と行動を縛ろうとする彼。
- 彼にメールを送ってもすぐ返事をくれないことから彼の気持ちを疑い、彼の携帯メールを毎日チェックする彼女。
- デートの時は男が払うのが当然だという彼女。割り勘にしたいが、いつもおごらされている彼。
- 彼が離れてしまうことを恐れて、妊娠の心配や感染症の恐れを口に出せずに彼に従う彼女。

☆大人から考え実践したい

- 女らしさ男らしさは魅力を生み出すプラス面と、男女間に上下関係をつくるマイナス面がある。DVは長く続いてきたマイナス面の表れ。
- 強くたくましくと言われてきた男の子は、自分の本当の気持ちを表せずに、思いどおりにしやすい女の子や年下の子どもの力を向けがち。
- 優しく出しゃばらないと言われてきた女の子は、嫌なことでも「いや!」とは言いにくく、それが男の子に一層強い力を持たせる結果につながる。

→ 子どもは大人の言動をまねて学びます ←



“あいとぴあ” 男女共同参画推進啓発かるた

DVは人権侵害であり
犯罪です



女性に対する
暴力根絶のための
シンボルマーク

男女共同参画に関するお問い合わせは…
生涯学習企画課（内線1459）

春の火災予防運動

3月1日(水)～7日(火)

～あなたです 火のあるくらしの 見はり役～

平成17年中に岡谷市内で発生した火災は28件で、前年と比べ12件の増であり、建物火災や枯草などの火災が増加しました。『自分の家は大丈夫』といった油断は禁物です。

春先は空気が乾燥し火災が発生しやすい季節です。火の取扱いには十分注意しましょう。

家族そろって防火を体験しよう!

日時 3月5日(日) 午後2時～4時

場所 アピタ岡谷店

中央広場 午後2時～3時

◆岡谷市消防団

岡谷市消防音楽隊 防火ふれあいコンサート

店舗東口

◆煙体験・消火体験

◆住宅用火災警報器展示

◆消防団活動写真展



火の用心 3つの習慣



①

寝たばこは、絶対にやめる!



②

ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



③

ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す!



消防団員を募集しているよー!



お問い合わせは
岡谷消防署
☎22-0119